

# みずきたただより

第6号

令和5年10月20日  
瑞穂野北小学校  
発行者 阿久津 浩久

— かしこく やさしく たくましく —



例年以上の厳しい残暑もようやく収まり、朝晩の冷え込みと真っ青な空が秋を感じさせてくれるようになりました。金木犀の花も鮮やかなオレンジ色と甘い香りを楽しませてくれています。

清少納言の「枕草子」にもあるように、日本は四季折々の風情が特徴的でしたが、ここのところ春や秋といった寒暖の移り変わる期間が短くなってきている気がしてなりません。しかし、9月初旬に稲刈りしたはずの田んぼが再び青々として稲穂がついている様子を見ると、そのことを実感せずにはいられません。「地球沸騰化」ともいわれる気候変動をはじめ、持続可能な社会の実現に向けた課題は身近なところに存在します。その解決に対して、子供たちが今できることは限られているかもしれませんが、未来を創り上げていく者として考えさせる機会を、学校教育の中で持たせられたらと思っています。



稲刈り後の田んぼ 10/17

9月27日（水）

今年度3回目の避難訓練は、**竜巻からの避難**を想定しました。本校は校舎内に5か所の避難場所を設定しています。昼休み中に放送を入れましたが、子供たちは今自分がいる所から最適な場所へ速やかに避難することができました。体調不良者やけが人も想定して、職員の動きについても確認しました。



## 第3回・第4回避難訓練

10月4日（水）

4回目は不審者からの避難を行いました。

竜巻は実施日を予告していましたが、今回は子供たちに事前予告をせず実施しました。不審者役は下桑島町駐在所の大拙（おおつき）さんに演じていただきました。突然の侵入で怖さを感じてしまった子もいましたが、臨場感と緊張感のある有意義な訓練となりました。訓練後は防犯教室を行い、大拙さんから身を守ることについてご講話をいただきました。



## 地域学校園あいさつ運動 10月5日(木)

コロナ禍で中止されていた小中合同のあいさつ運動を再開しました。当日は代表委員の児童に加え、本校出身の中学生や福祉のまちづくり推進委員の皆さんが参加してください、とても気持ちの良い登校時間となりました。普段は朝が弱いのか声を出してあいさつすることが難しい様子もうかがえるのですが、この日はみんなが大きな声であいさつを交わすことができていました。これからも地域を挙げてあいさつの飛び交う地区でありたいものです。引き続き指導して参りたいと思います。



## 第1学期終業式10月6日・第2学期始業式10月12日

終業式・始業式ではそれぞれ2名の児童が作文を発表しました。どの子も半年間の自分を振り返り、これからの目標や抱負を立派に話すことができました。校長からは苦手なことをできるように努力することだけでなく、得意なことや好きなことを伸ばすことにも目を向けてほしいことを話しました。次の学年に向けて成長を続ける子供たちの頑張りを保護者の皆様と共に見守り、励ましていきたいと思ひます。



## 1学期の頑張りをたたえて ～北っ子賞を授与しました～

本校では、学校や地域において模範となる行動を実践している児童を表彰することで、児童の自尊感情や道徳的実践意欲を高める取り組みを長年行っております。今回も各学年から合わせて26名の児童に「北っ子賞」を授与しました。思いやりにあふれ、友達や下級生に親身になって寄り添う姿、明朗快活であいさつや返事が清々しい態度、骨身を惜しまず清掃や係・委員会活動等に率先して取り組む姿勢など、みんなの良き手本となってくれました。行動そのものの評価はもちろんですが、大きく成長した姿も踏まえて選考を行いました。これからも、互いの頑張りを認め合い、励まし合える人間関係の構築を目指していきたいと思ひます。

